

調査結果

1 令和6年度予防接種実施状況（総論）

（１） 接種者数について

令和6年度調査では、県内63市町村全てから接種者数の報告があった。
生年コホート調査として、各予防接種を生年別に集計した。

（２） 埼玉県全体の接種状況

ア 埼玉県の令和6年度接種者数における生年別接種者割合

予防接種は、感染症罹患リスクの高い年齢までに、効果的に受けることが重要である。令和6年度に接種された定期予防接種の接種時期を比較検討するため、DPT-IPV-Hib1期、DPT-IPV1期、MRワクチン、日本脳炎ワクチン1期、水痘ワクチン及びHib1期の令和6年度の生年別接種者数及び生年別接種者割合をまとめた（表1-1、表1-2）。また、生年別接種者割合についてはグラフにもまとめた（図1-1）。

生年別接種者割合の算出方法

【例：令和6年度 DPT-IPV-Hib1期初回1回目接種者の令和6年生接種者割合】 $\frac{\text{令和6年度 DPT-IPV-Hib1期初回1回目の令和6年生接種者数}}{\text{令和6年度 DPT-IPV-Hib1期初回1回目の接種者総数}} \times 100$
--

表 1－1 令和 6 年度 生年別接種者数

		令和 7年生	令和 6年生	令和 5年生	令和 4年生	令和 3年生	令和 2年生	令和 元年生	平成 30年生	平成 29年生	平成 28年生
DPT-IPV -Hib 1期	初回	1回目	2226	38765	156	5	3	2	2	2	-
		2回目	12	37307	146	6	2	1	2	1	-
		3回目	-	33120	208	2	3	1	1	1	-
	追加	-	2202	1032	64	18	9	3	5	3	-
DPT-IPV 1期	初回	1回目	-	460	180	12	4	2	3	3	-
		2回目	-	2562	1865	33	13	4	6	2	-
		3回目	-	2528	6247	100	30	10	10	4	-
	追加	-	161	25543	16634	1751	463	194	230	83	9
MR	第1期	-	6148	34456	1539	-	-	-	-	-	-
	第2期	-	-	-	-	-	-	11509	38540	-	1
日本脳炎 1期	初回	1回目	-	526	948	3799	31263	7228	1569	1676	216
		2回目	-	388	901	2192	28117	9729	2491	2354	488
	追加	-	4	203	522	1380	18911	13216	9818	2142	204
水痘	1回目	-	6301	34751	1830	143	-	-	-	-	-
	2回目	-	4	20388	18901	1949	-	-	-	-	-
Hib 1期	初回	1回目	-	347	84	3	10	8	3	-	-
		2回目	-	2541	1605	1	-	-	-	-	-
		3回目	-	2535	5840	5	-	10	4	-	-
	追加	-	1744	33012	2637	358	133	30	-	-	-

(-:接種者数0人)

接種者数が最も多い生年

表 1－2 令和 6 年度 生年別接種者割合

		令和 7年生	令和 6年生	令和 5年生	令和 4年生	令和 3年生	令和 2年生	令和 元年生	平成 30年生	平成 29年生	平成 28年生
DPT-IPV -Hib 1期	初回	1回目	5.4%	94.2%	0.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	-	-
		2回目	0.0%	99.5%	0.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	-
		3回目	-	99.3%	0.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	-
	追加	-	66.0%	30.9%	1.9%	0.5%	0.3%	0.1%	0.1%	0.1%	-
DPT-IPV 1期	初回	1回目	-	69.0%	27.0%	1.8%	0.6%	0.3%	0.4%	0.4%	-
		2回目	-	57.0%	41.5%	0.7%	0.3%	0.1%	0.1%	0.0%	-
		3回目	-	28.3%	69.9%	1.1%	0.3%	0.1%	0.1%	0.0%	-
	追加	-	0.4%	56.7%	36.9%	3.9%	1.0%	0.4%	0.5%	0.2%	0.0%
MR	第1期		14.6%	81.8%	3.7%	-	-	-	-	-	-
	第2期		-	-	-	-	-	23.0%	77.0%	-	0.0%
日本脳炎 1期	初回	1回目		1.1%	2.0%	8.0%	66.2%	15.3%	3.3%	3.5%	0.5%
		2回目		0.8%	1.9%	4.7%	60.2%	20.8%	5.3%	5.0%	1.0%
	追加			0.0%	0.4%	1.1%	3.0%	40.8%	28.5%	21.2%	4.6%
水痘	1回目			14.6%	80.8%	4.3%	0.3%	-	-	-	-
	2回目			0.0%	49.4%	45.8%	4.7%	-	-	-	-
Hib 1期	初回	1回目	-	76.3%	18.5%	0.7%	2.2%	1.8%	0.7%	-	-
		2回目	-	61.3%	38.7%	0.0%	-	-	-	-	-
		3回目	-	30.2%	69.6%	0.1%	-	0.1%	0.0%	-	-
	追加	-	4.6%	87.1%	7.0%	0.9%	0.4%	0.1%	-	-	-

(-:接種者数0人)

接種者割合が最も高い生年

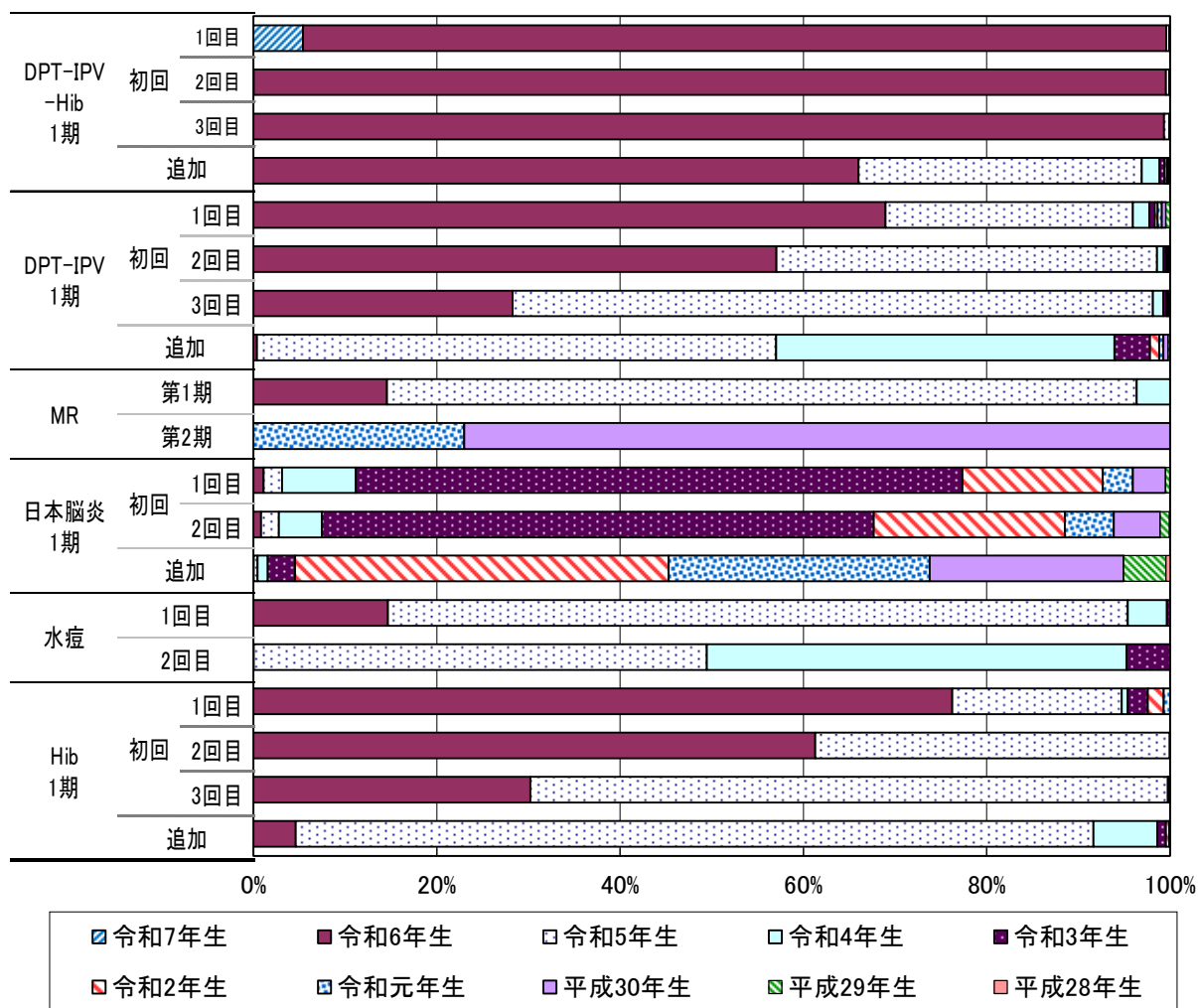


図 1 - 1 令和 6 年度 生年別接種者割合

(ア) ジフテリア、百日せき、急性灰白髄炎、破傷風及び Hib 感染症の予防接種に関するワクチンの生年別接種者数及び接種者割合

令和 6 年 3 月 29 日に予防接種実施要領の一部が改正され、令和 6 年度から、百日せき、ジフテリア、破傷風、急性灰白髄炎の予防接種に加え、Hib 感染症の予防接種を追加した 5 種混合ワクチンの使用が可能となった。

令和 6 年度の 1 期初回 1 回目の接種者は、平成 30 年生から令和 7 年生に分布し、接種者数は令和 6 年生（38,765 人、94.2%）が最も多かった。1 期初回 2 回目の接種者は、平成 29 年生から令和 7 年生に分布し、接種者数は令和 6 年生（37,307 人、99.5%）が最も多かった。1 期初回 3 回目の接種者は、平成 29 年生から令和 6 年生に分布し、接種者数は令和 6 年生（33,120 人、99.3%）が最も多かった。1 期追加の接種者は、平成 29 年生から令和 6 年生に分布し、接種者数は令和 6 年生（2,202 人、66.0%）が最も多かった（表 1-1、表 1-2、図 1-1）。

(イ) ジフテリア、百日せき、急性灰白髄炎及び破傷風の予防接種に関するワクチンの生年別接種者数及び接種者割合

令和 6 年度の 1 期初回 1 回目の接種者は、平成 29 年生から令和 6 年生に分布し、接種者数は令和 6 年生（460 人、69.0%）が最も多かった。1 期初回 2 回目の接種者は、平成 29 年生から令和 6 年生に分布し、接種者数は令和 6 年生（2,562 人、57.0%）が最も多かった。1 期初回 3 回目の接種者は、平成 29 年生から令和 6 年生に分布し、接種者数は令和 5 年生（6,247 人、69.9%）

が最も多かった。1 期追加の接種者は、平成 28 年生から令和 6 年生に分布し、接種者数は令和 5 年生（25,543 人、56.7%）が最も多かった（表 1-1、表 1-2、図 1-1）。

（ウ） 麻しん及び風しんの予防接種に関するワクチンの生年別接種者数及び接種者割合

麻しん及び風しんの抗原を含むワクチンとしては、MR、麻しん単抗原及び風しん単抗原がある。このうち、麻しん単抗原、風しん単抗原については、県全体の接種者数が麻しん単抗原第 1 期 0 人、第 2 期 0 人、風しん単抗原第 1 期 1 人、第 2 期 0 人 と少なかったため、各ワクチン単独での生年別接種者割合の算出は行わず、MR についてのみ生年別接種者数及び接種者割合を算出した。

令和 6 年度の第 1 期の接種者は、令和 4 年生から令和 6 年生に分布し、接種者数は令和 5 年生（34,456 人、81.8%）が最も多かった。また、第 2 期の接種者は、平成 28 年生、平成 30 年生及び令和元年生に分布し、接種者数は平成 30 年生（38,540 人、77.0%）が最も多かった（表 1-1、表 1-2、図 1-1）。

（エ） 日本脳炎ワクチンの生年別接種者数及び接種者割合

令和 6 年度の 1 期初回 1 回目及び 2 回目の接種者は、いずれも平成 28 年生から令和 6 年生に分布し、接種者数はそれぞれ令和 3 年生（1 回目：31,263 人、66.2%、2 回目：28,117 人、60.2%）が最も多かった。1 期追加の接種者についても、平成 28 年生から令和 6 年生に分布しており、接種者数は令和 2 年生（18,911 人、40.8%）が最も多かった（表 1-1、表 1-2、図 1-1）。

（オ） 水痘ワクチンの生年別接種者数及び接種者割合

令和 6 年度の 1 回目の接種者は、令和 3 年生から令和 6 年生に分布し、接種者数は令和 5 年生（34,751 人、80.8%）が最も多かった。2 回目の接種者は、令和 3 年生から令和 6 年生に分布し、接種者数は令和 5 年生（20,388 人、49.4%）が最も多かった（表 1-1、表 1-2、図 1-1）。

（カ） Hib ワクチンの生年別接種者数及び接種者割合

令和 6 年度の 1 回目の接種者は、令和元年生から令和 6 年生に分布し、接種者数は令和 6 年生（347 人、76.3%）が最も多かった。2 回目の接種者は、令和 4 年生から令和 6 年生に分布し、接種者数は令和 6 年生（2,541 人、61.3%）が最も多かった。1 期初回 3 回目の接種者は、令和元年生、令和 2 年生及び令和 4 年生から令和 6 年生に分布し、接種者数は令和 5 年生（5,840 人、69.6%）が最も多かった。1 期追加の接種者は、令和元年生から令和 6 年生に分布し、接種者数は令和 5 年生（33,012 人、87.1%）が最も多かった（表 1-1、表 1-2、図 1-1）。

イ 埼玉県が生年別接種完了率

（ア） 定期接種の生年別接種完了率

令和 6 年度接種者数を平成 28 年度から令和 5 年度の接種者数に積み上げ、接種完了率を算出し比較検討した（表 1-3）。なお、令和 6 年度の DPT-IPV の接種者数には、DPT-IPV-Hib の接種者数も合算している。また、不活化ポリオ含有ワクチンの生年別接種完了率は、IPV、DPT-IPV 及び DPT-IPV-Hib の接種者数の合算を使用し生年別接種完了率を算出したが、IPV の接種者数が少ないため DPT-IPV の接種完了率と同様の結果であった。

a DPT-IPV 含有ワクチン

生年別で最も接種完了率が高かったのは、1 期初回 1 回目及び 2 回目は令和元年生であり、それぞれ 1 回目 101.4%、2 回目 101.7%であった。3 回目は令和元年生及び令和 2 年生であり、それぞれ 101.5%であった。また、1 期追加は平成 29 年生の接種完了率が最も高く 97.1%であった（表 1-3）。

b MR ワクチン

生年別で最も接種完了率が高かったのは、第 1 期では令和元年生（97.5%）、第 2 期では平成 29 年生（92.6%）であった（表 1-3）。

c 日本脳炎ワクチン

生年別で最も接種完了率が高かったのは、平成 29 年生であり、1 期初回 1 回目、2 回目及び 1 期追加において、それぞれ 1 回目 94.8%、2 回目 93.6%、1 期追加 86.1%であった（表 1-3）。

d 水痘ワクチン

生年別で最も接種完了率が高かったのは、1 回目、2 回目ともに令和元年生であり、1 回目 97.6%、2 回目 91.6%であった（表 1-3）。

表 1－3 令和 6 年度 生年別接種完了率

	令和6年生	令和5年生	令和4年生	令和3年生	令和2年生	令和元年生	平成30年生	平成29年生	平成28年生
DPT-IPV1 期初回1回目	99.3%	100.8%	100.6%	100.7%	101.3%	101.4%	101.0%	100.9%	100.7%
DPT-IPV1 期初回2回目	95.9%	100.8%	101.0%	101.0%	101.5%	101.7%	101.1%	101.0%	101.1%
DPT-IPV1 期初回3回目	85.7%	101.0%	100.9%	101.0%	101.5%	101.5%	101.2%	101.2%	101.0%
DPT-IPV1 期追加	*	59.5%	89.9%	93.8%	95.5%	96.3%	96.8%	97.1%	96.4%
MR第1期	*	92.0%	96.6%	96.4%	97.2%	97.5%	97.3%	97.2%	96.7%
MR第2期	—	—	—	—	*	*	91.7%	92.6%	92.5%
日本脳炎1期初回1回目	*	*	*	73.4%	88.7%	91.3%	94.0%	94.8%	94.7%
日本脳炎1期初回2回目	*	*	*	63.2%	83.9%	88.1%	92.5%	93.6%	93.5%
日本脳炎1期追加	*	*	*	*	40.7%	65.8%	81.8%	86.1%	84.3%
水痘1回目	*	92.2%	96.5%	96.6%	97.2%	97.6%	97.2%	96.6%	96.0%
水痘2回目	*	45.2%	85.4%	89.7%	90.5%	91.6%	91.1%	89.8%	88.7%

—: 当該生年における接種者数が0人

*: 当該生年における標準的な接種期間(MRIについては、定期接種の対象者)に最も合致する年齢の人口を対象とした埼玉県町(丁)字別人口調査の結果が、資料作成時点で公表されていないことから、接種完了率の算出が出来ません。

■: 接種完了率が最も高い生年

DPT-IPVの接種完了率について、平成28年生のうち、平成27年度及び平成28年度に接種したものは、DPTとDPT-IPVの接種者数を合算し算出。また、令和6年生のうち、令和6年度に接種したものは、DPT-IPVとDPT-IPV-Hibの接種者数を合計し算出。

(イ) 標準接種期間における生年別接種完了率

定期接種実施要領により、各予防接種について標準的な接種期間が定められている。各予防接種における標準的な接種期間に合致する生年について、接種完了率を以下にまとめた。

a ジフテリア、百日せき、急性灰白髄炎、破傷風及び Hib 感染症の予防接種

令和 7 年度調査では令和 6 年生が最も標準接種期間に合致する生年である。

DPT-IPV 接種完了率について、標準的な接種期間に最も合致する年齢に該当する生年の経年変化を比較した。なお、不活化ポリオ含有ワクチンの結果については IPV の接種者数が少なく、DPT-IPV の接種者数から求められる接種完了率と同等であるため、記載は省略した。

平成 29 年度調査から令和 5 年度調査にかけては、1 回目は 97%付近、2 回目は 88%付近、3 回目は 77%付近で推移していたが、令和 6 年度調査及び令和 7 年度調査では、1 回目は 100%付近、2 回目は 96%付近、3 回目は 86%付近であり、すべての接種回数で増加した。これは、令和 5 年度から標準的な接種期間の接種開始年齢が繰り上げられ、その分が早く調査結果に反映されるようになったことが一因であると考えられる(表 1-4)。

表 1－4 DPT-IPV1 期初回 1～3 回目接種完了率の経過

DPT含有ワクチン 1期初回	①平成29 年度調査	②平成30 年度調査	③令和元 年度調査	④令和2 年度調査	⑤令和3 年度調査	⑥令和4 年度調査	⑦令和5 年度調査	⑧令和6 年度調査	⑨令和7 年度調査	接種完了率 の変化 ⑨－①
	平成28年生	平成29年生	平成30年生	令和元年生	令和2年生	令和3年生	令和4年生	令和5年生	令和6年生	
1回目	96.4%	→ 96.4%	→ 96.7%	→ 97.4%	→ 98.5%	→ 97.3%	→ 97.2%	→ 100.0%	→ 99.3%	+ 2.9
2回目	87.2%	→ 86.5%	→ 87.1%	→ 87.7%	→ 89.5%	→ 88.3%	→ 88.0%	→ 96.2%	→ 95.9%	+ 8.7
3回目	76.5%	→ 76.0%	→ 76.6%	→ 77.3%	→ 79.8%	→ 78.0%	→ 77.4%	→ 86.2%	→ 85.7%	+ 9.2
ワクチンの 種類	DPT+ DPT-IPV	DPT-IPV	DPT-IPV	DPT-IPV	DPT-IPV	DPT-IPV	DPT-IPV	DPT-IPV	DPT-IPV+ DPT-IPV-Hib	

b 麻しん及び風しんの予防接種

平成 27 年度調査以前の接種完了率は、MR ワクチン第 1 期に麻しん及び風しんの各単抗原ワクチン接種者を合計した値を算出し解析していたが、平成 28 年度調査以降の接種完了率は MR ワクチン接種者のみを算出し、解析した。

MR ワクチンの第 1 期の接種については、対象者は生後 12 月から生後 24 月に至るまでの間にあるものと定められている。令和 7 年度調査では令和 5 年生の遅生まれの子どもが第 1 期接種対象年齢を迎えている。令和 5 年生の MR ワクチン第 1 期接種完了率は令和 6 年度調査より 1.3 ポイント減少した 92.0%であった（表 1-5）。また、令和 4 年生の子どもが定期接種期間での観察が終了し、完了率は 96.6%となった（表 1-6）。

表 1－5 MR ワクチン第 1 期接種完了率の経過
（定期接種対象年齢となった生年）

MR	①平成29 年度調査 平成27年生	→	②平成30 年度調査 平成28年生	→	③令和元 年度調査 平成29年生	→	④令和2 年度調査 平成30年生	→	⑤令和3 年度調査 令和元年生	→	⑥令和4 年度調査 令和2年生	→	⑦令和5 年度調査 令和3年生	→	⑧令和6 年度調査 令和4年生	→	⑨令和7 年度調査 令和5年生	接種完了率 の変化 ⑨－①
第1期	92.5%	→	92.8%	→	94.0%	→	94.0%	→	95.4%	→	94.9%	→	93.1%	→	93.3%	→	92.0%	- 0.5

表 1－6 MR ワクチン第 1 期接種完了率の経過
（定期接種対象期間での観察が終了した生年）

MR	①平成29 年度調査 平成26年生	→	②平成30 年度調査 平成27年生	→	③令和元 年度調査 平成28年生	→	④令和2 年度調査 平成29年生	→	⑤令和3 年度調査 平成30年生	→	⑥令和4 年度調査 令和元年生	→	⑦令和5 年度調査 令和2年生	→	⑧令和6 年度調査 令和3年生	→	⑨令和7 年度調査 令和4年生	接種完了率 の変化 ⑨－①
第1期	96.2%	→	96.4%	→	96.6%	→	97.1%	→	97.3%	→	97.4%	→	97.2%	→	96.4%	→	96.6%	0.4%

MR ワクチン第 2 期の接種対象期間は、5 歳以上 7 歳未満の者で小学校就学前年度の 1 年間となるため、接種対象者が年度で区切られることから、生年別集計では 4～12 月生と 1～3 月生の生年に分かれる。

令和 7 年度調査では、平成 30 年生について、令和 5 年度と令和 6 年度の接種者数を積み上げ、定期接種対象期間での観察が終了し、完了率は 91.7%となった。同接種期間に相当する令和 6 年度調査の平成 29 年生の接種完了率と比較して同水準であった（表 1-7）。

表 1－7 MR ワクチン第 2 期接種完了率の経過

MR	①平成29 年度調査 平成22年生	→	②平成30 年度調査 平成23年生	→	③令和元 年度調査 平成24年生	→	④令和2 年度調査 平成25年生	→	⑤令和3 年度調査 平成26年生	→	⑥令和4 年度調査 平成27年生	→	⑦令和5 年度調査 平成28年生	→	⑧令和6 年度調査 平成29年生	→	⑨令和7 年度調査 平成30年生	接種完了率 の変化 ⑨－①
第2期	92.3%	→	92.7%	→	93.8%	→	94.1%	→	94.6%	→	94.3%	→	92.5%	→	92.6%	→	91.7%	- 0.6

c 水痘の予防接種

水痘ワクチンの1回目接種については、標準的な接種期間が生後12月から生後15月に達するまでの期間である。令和7年度調査においては、令和5年生の遅生まれの子どもが1回目接種対象年齢を迎えている。

令和7年度調査の令和5年生における接種完了率は、令和6年度調査の令和4年生と比較して同水準であった。平成30年度調査以降、水痘ワクチン1回目接種完了率は、水痘の流行防止に必要とされる90%を継続して超えている（表1-8）。

表1-8 水痘ワクチン1回目接種完了率の経過

水痘	①平成29 年度調査 平成27年生	→	②平成30 年度調査 平成28年生	→	③令和元 年度調査 平成29年生	→	④令和2 年度調査 平成30年生	→	⑤令和3 年度調査 令和元年生	→	⑥令和4 年度調査 令和2年生	→	⑦令和5 年度調査 令和3年生	→	⑧令和6 年度調査 令和4年生	→	⑨令和7 年度調査 令和5年生	接種完了率 の変化 ⑨-①
1回目	88.0%	→	90.4%	→	92.0%	→	92.5%	→	94.7%	→	94.0%	→	92.2%	→	92.6%	→	92.2%	+ 4.2%

令和7年度調査では、令和3年生まれについて定期接種対象期間での観察が終了した。

令和7年度調査の令和3年生の接種完了率は、令和6年度調査の令和2年生と同水準であった。水痘ワクチンの2回目接種について、令和4年度調査以降接種完了率が90%を継続して超えていたが、令和7年度はわずかに下回った。なお、平成29年度調査における平成25年生については定期接種開始前に出生しており、任意接種の接種率が考慮されていないため参考値となる（表1-9）。

表1-9 水痘ワクチン接種完了率の経過（定期接種対象期間での観察が終了した生年）

水痘	①平成29 年度調査 平成25年生	→	②平成30 年度調査 平成26年生	→	③令和元 年度調査 平成27年生	→	④令和2 年度調査 平成28年生	→	⑤令和3 年度調査 平成29年生	→	⑥令和4 年度調査 平成30年生	→	⑦令和5 年度調査 令和元年生	→	⑧令和6 年度調査 令和2年生	→	⑨令和7 年度調査 令和3年生	接種完了率 の変化 ⑨-①
1回目	73.9%	→	93.8%	→	94.2%	→	96.0%	→	96.6%	→	97.2%	→	97.6%	→	97.2%	→	96.6%	+ 22.7%
2回目	72.0%	→	79.3%	→	85.5%	→	88.7%	→	89.8%	→	91.1%	→	91.6%	→	90.5%	→	89.7%	+ 17.7%